2011.9.16 エルイー創造研究所

揚輝荘活用基本計画（案）

Ⅰ　基本的な考え方（案）

多様な市民交流により地域の魅力を高める ～地域の歴史的資源を守り、伝え、創る～

まちづくり活動の拠点となり、多様な人びとの交流する開かれた公共スペースとし、多くの市民によりこの地域の歴史的資源をさらに磨き、まちの魅力を高めていきます。

まもる

都心部に残った貴重な歴史的な建物と庭園のある良好な環境を保全し、市民への啓発を行います。

- **歴史的な建物や庭園等緑地の維持保全に取り組みます。**
- **自然観察会の開催など、市民への環境啓発活動を行います。**
- **季節に応じたイベント開催など、自然との共生を体感できる機会をつくります。**

つたえる

揚輝荘の魅力や近代名古屋の形成に大きく寄与した建設者の伊藤次郎左衛門祐民氏の多岐に渡る活発な活動を後世に伝えるとともに、地域の歴史や文化を伝えていきます。

- **伊藤祐民氏の業績や活動を紹介することで、近代名古屋の歴史を伝えます。**
- **近代建築物を良好な状態に維持し、市民に公開します。**
- **地域にある歴史的な場所とともに、地域の歴史を伝えます。**
- **市民が地域文化を学習できる場とします。**
- **伝統文化の継承を支援します。**

つくる

地域の人の交流だけでなく、国際交流なども含めた多様な人びととの交流を図ることで、創作活動を誘発し、新たな地域文化の創造につなげます。

- **まちづくり活動の拠点とします。**
- **多文化交流の場とします。**
- **地域の人が気軽に集える場とします。**
- **イベント企画により市民交流を促進します。**

Ⅱ　揚輝荘の活用方針（案）

■来訪者サービス方針

市民に開かれた施設 **もてなしの精神で対応**

■事業実施方針

○展示事業

常設展示及び企画展示（施設の運営者と市民が協働で企画）

○交流事業

国際交流事業、地域交流事業、まちづくり拠点

○研究支援事業

近代名古屋、地域文化、多文化共生など研究支援

○創造支援事業

地域文化創造、市民交流につながる創造活動を支援

■南園の活用計画

○聴松閣　　見学コースの設定
常設展示　近代名古屋の資料展示（建物・庭園、地域のまちづくり、祐民氏の業績資料を中心に）
企画展の実施
庭を眺めながらの喫茶
地下ホールは、各種交流事業に活用

○座敷　　まちづくり拠点として、会議室や事務局機能
案内人詰所
地域文化の研究支援、創造支援などのため部屋貸し

○南庭園　　散策路整備

■北園の活用計画

○伴華楼　　１階：常設展示（鈴木禎次を中心とした名古屋の建築家の系譜、庭園紹介）
２階：申込制による見学、伝統行事等文化的な催しに活用
増築部　１階は案内所兼休憩所、２階は管理事務所

○土蔵　　展示品収蔵スペース

○ＲＣ造蔵　創造活動支援スペース（制作室）、企画展示スペース

○三賞亭　　申込制による貸出し、見学コース（人数限定）

○白雲橋　　見学コース、イベント時の舞台

○北庭園　　散策路整備、地域交流イベント実施

Ⅲ　管理運営の考え方（案）

～市民交流を促進するための管理運営のあり方～

■市民参加の管理体制

○維持管理に必要な業務委託

専門的技術の必要な維持管理など、最低限の業務委託

○より質の高い施設管理のための市民参加の仕組み

揚輝荘に愛着を持つ市民の自主的な参加

施設を良好に維持し来訪者をもてなす体制

○利用する市民団体による協同管理体制

揚輝荘を拠点としてまちづくり活動を行う市民団体の協同管理体制

貸室利用者（研究支援、創造支援を受ける市民）の自主管理ルール

■交流を生み出す事業実施体制

○協働事業により交流を促進

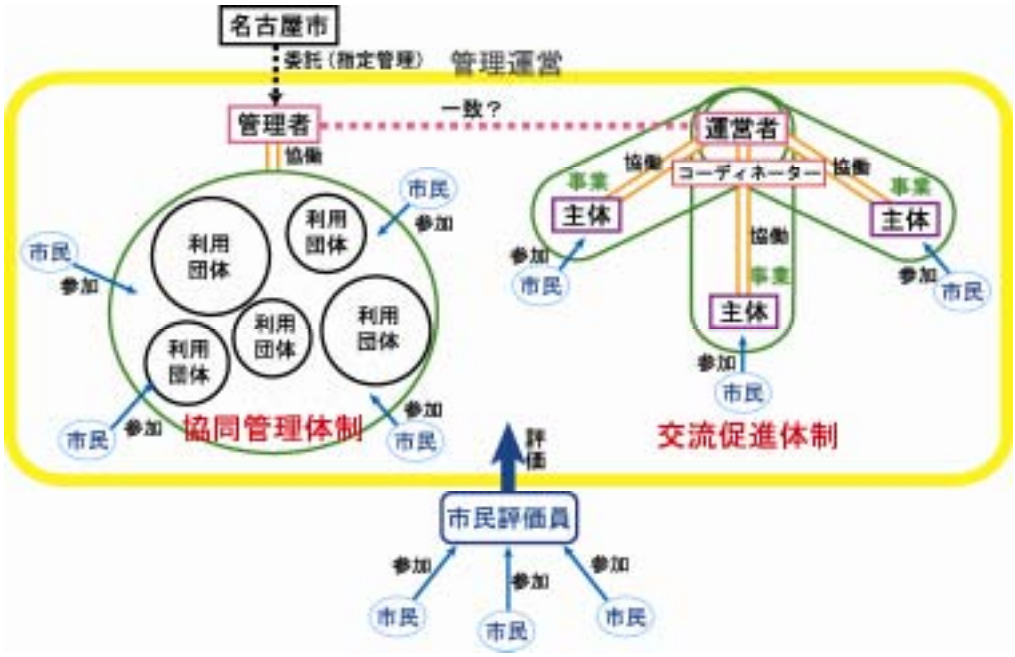
企画展示事業や各種交流事業は、多様な主体と協働実施

多様な交流の創出

○コーディネーター設置

協働事業実施のためのコーディネーター設置

○市民が評価する仕組み

市民評価員制度

事業や多様な利用が市民の交流促進につながっているかを評価し事業等に反映